

14人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 森元 秀一「市民にやさしいサービスの提供を」…P12
- 2 児玉 正孝「通学路の安全対策への取り組みを」…P13
- 3 谷崎 利浩「はな阿蘇美の未収金はどうなったか」…P13
- 4 河崎 徳雄「市の降灰対策を問う」…P14
- 5 市原 正「阿蘇市子どもたちを育むために」…P14
- 6 佐藤 和宏「森林経営管理制度創設は」…P15
- 7 甲斐純一郎「令和元年梅雨時期における被害状況は」…P15
- 8 大倉 幸也「阿蘇市のイベント等の中止の基準は」…P16
- 9 藏原 博敏「どうなった！坂梨、古神地区の異臭問題」…P16
- 10 園田 浩文「国際情勢による外国人観光客の動向は」…P17
- 11 佐藤 菊男「市道の維持管理・波野地域の市営住宅整備は」…P17
- 12 田中 弘子「臭気対策の現状は」…P18
- 13 五嶋 義行「広域農道（通称8メートル道路）の工事進捗状況は」…P18
- 14 竹原 祐一「阿蘇市で18歳までの医療費無料化が実施予定される」…P19

市民にやさしいサービスの提供を



森元 秀一

森元 若い世代の人口増加、子育て支援策として、児童医療費助成と今後の取り組みは。

宮崎市民部長 今後の方向性としては、来年の4月から、外来千円、入院2千円を撤廃して完全無償化に。また、年齢制限を18歳以下まで拡充して対応することを検討しているところです。

森元 高齢者世帯のごみ出しへの市の支援は。

岩下市民課長 高齢者世帯等に対しての何らかのごみ出し支援が必要な時期に来ているということは認識しているところです。高齢者のごみ出しの負担軽減となるようなステーションの適切な設置などについても今後検討する必要がありますと考えており、環境省が示すガイドライン等も十分参考にし、地域の実情に合った高齢者支援策を今後模索して参ります。

森元 ワンストップで手続きができるような「お悔やみコーナー」の設置の検討を。

市民課長

以前からご家族を亡くされた後のご遺族の事務手続きはかなりの負担を強いるものと感じており、少しでも手続きが簡素化できるような方法を全庁的に検討する必要がありますと考えます。「お悔やみコーナー」の設置は、非常に効果的であると考えていますが、実際に行う場合、組織体制の見直し、関係各課との調整、スペースの確保が必要であるため、今後の重要課題として預かって頂きたいと思っております。

他に「自転車保険加入の促進を求める取り組みについて」、「公立病院経営改善に向けた取り組みは」等の質問がありました。



通学路の安全対策への取り組みを



児玉 正孝

児玉 全国各地で、通学途中の児童生徒が交通事故に巻き込まれるという痛ましい事案が発生している。自動車の歩道進入による、事故被害を防ぐためにも早急な対策が必要と考えるが。

村山総務課長 7月9日に阿蘇警察署管内の首長、交通指導隊長とともに、熊本河川国道事務所、熊本県、県警本部に対し、特に交通量が多い国道などに付帯する歩道への自動車侵入防止設備である「ポラード」の重点整備の要望を行いました。

公用車の管理体制について

児玉 熊本県内の自治体で、車検切れの自動車を運行していた事案が散見されるが、当市ではどのような管理体制になっているのか。

総務課長 本所、支所、教育委員会に安全運転管理者を配置するとともに、毎月1日、15日に公用車の点検を実施、また、運行日誌をつけています。消防団の車輛については3

箇月前までに車検の告知を行い、管理に不行き届きが無いようにしっかりと指導を行っています。

JR復旧工事工程での情報共有について

児玉 黒川地区の新規圃場整備事業、市道上西黒川成川線拡幅事業が実施されるが、これに伴う踏切整備は事前協議されているのか。また、線路横断水路の拡張は開通前に出来ないのか。

中本建設課長 踏切で安全な通行をするためには、2車線化が必要であり、4千万円ほどの費用がかかるため、現在、JRと協議を進めています。

吉良土木部長 横断水路については以前から要望が出ている事は承知しています。JRに支払う予算が確保できない等の理由で未だ足止めとなっています。



ポラード

はな阿蘇美の未収金はどうなったか



谷崎 利浩

谷崎 はな阿蘇美の未収金283万円の納入状況は。また、数年経つが請求は行っているのか。

荒木まちづくり課長 納付金は納入されています。請求先は㈱アグリスクエアですが、住所は現在の「はな阿蘇美」のままです。請求書を出してもそこに届いてしまうので、対応協議を顧問弁護士と予定しています。

谷崎 時効とならない様、追跡調査を行い、請求書を確認に当事者へ届けることは出来ないのか。

まちづくり課長 時効等についても、民法、地方自治法等を含め顧問弁護士と検討したいと考えております。

阿蘇11の6の村の和解金について

谷崎 和解金150万円のその後は、**まちづくり課長** 阿蘇市に9月17日付けで入金され、テニスコートの土砂撤去についても終了しています。

谷崎 今後の方針は。**まちづくり課長** 様々な可能性を模索して、売却等も含め地域活性化に繋がるよう検討していきます。

医療センターの経営見通しについて

谷崎 県の地域連携医療ネットワーク事業により、派遣される医師の見込みは。また赤字の限度額は。

井野医療センター事務局長 来年度常勤医師で熊本大学病院から24人が、当院を含む15の地域医療拠点病院に派遣されます。医師少数区域の阿蘇は、優先的に複数名派遣されるよう強く要望しています。医師確保により、医業収益3億円増収で経営の安定化が見込まれます。単年度赤字2億円程度であれば、資金繰りも出来て評価して頂けると思っています。

谷崎 2億円の赤字でも経営は継続できるが、設備の更新が出来なくなるのでは。**事務局長** 引続き職員一丸となって経営改善に取り組む、医療提供体制の向上を図り、市民の皆様から無くてはならない病院だと思っ頂けるよう努力して参ります。



はな阿蘇美

市の降灰対策を問う



河崎 徳雄

業に「火山活動等降灰対策臨時交付金事業」がありますので、要援護者の降灰除去支援、子ども等への健康や安全確保対策事業等、地域の実状等を把握したうえで対応を進めます。

河崎 農業関係として、以前、高森町等では、土壌酸度矯正事業が導入されたが、本市は平成26年、28年の噴火降灰時に導入はされなかった。支援事業の検討を。

佐伯農政課長 当時、農地に対する10アール当たり概ね1トン以上の降灰量の事業要件が満たされませんでした。要件緩和を含めJA各生産部会、畜産、牧野組織等と情報を共有し対応を進めます。

佐藤市長 降灰は生活や農産物に影響があります。要件緩和等、国、県に要望して参ります。

河崎 活動火山対策特別措置法に基づき降灰対策はできないか。
総務部長 年間の降灰量が1平方メートル当たり1キログラム以上の降灰との要件があり、事業採択には至ってはいませんが、別途、県の事



阿蘇市の子どもたちを育むために



市原 正

市原 6月議会で小中学校での英語教育の充実について質問し、ALTの増員や市内在住の外国人を各小中学校へ招へいし、英語教室の実施などを提案したが、その後の進展は。

藤井教育課長 英語教育の充実を図るため実施しています英語チャレンジ事業は、昨年中学校3年生で受験率25パーセントでしたが、今年度54パーセントと成果は上がっております。また、外国人の招へいについては、阿蘇西、内牧小学校で地域在住の外国人学生ボランティアとして積極的に受け入れを行っています。

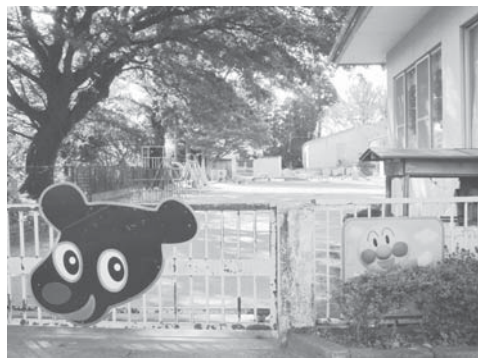
市原 10月1日から幼稚園、保育園、認定こども園などの利用料が無償化となるが阿蘇市内の対象者数は。

松岡福祉課長 無償化の対象者数は3歳から5歳児までの全児童594名。0歳から2歳児は住民税の非課税世帯、もしくは多子世帯、3人目のお子さんからが対象で22名、合

計616名になります。
市原 0歳から2歳児までも無償化と決めた自治体もある。阿蘇市でも取り組むことを提案したいが、福祉課長の見解を。また、本件は当然予算措置も伴うことから財政課長の見解も併せて求める。

福祉課長 福祉課で試算しましたが年間5千万円から6千万円の新たな出費が生じますので難しいものと考えています。基本、国の基準での運用に合わせての対応を行います。

山口財政課長 こうした事業については、所管の福祉課の方から新規事業として提案され、市の政策として決定されれば予算化を行います。今回は、福祉課長が答弁した国の制度に沿った運用を行うことになって



坂梨保育園

森林経営管理制度創設は



佐藤 和宏

佐藤 市内の森林や原野に至っては、所有者の経営意欲の低下や所有者不明の森林、更には境界未確定の森林、また林業の担い手不足等の現状がある。今後、森林管理制度創設に当たり市はどのような事業を検討しているのか。

佐伯農政課長 森林経営管理制度は、今年度から制度化されたものがあります。今年度の市の取り組みとしては、現在、林業事業体に間伐や植林等の施業管理を出されていない森林所有者の方々を対象に意向調査の実施を予定しています。本調査を踏まえて自己管理が出来ない所有者の方から経営委託を受けるという内容になっています。その後、管内の林業事業体に経営管理を再委託する形で進めます。森林の形状等により管理されていなかった森林に路網（作業道等）の整備や所有者不明となっている森林の問題にも対応できるように努めて参ります。

佐藤 森林整備は長い年数がかかるものと思われ、将来に渡り継

続して整備を行うことで災害発生リスク軽減となり、また、衰退する林業の活性化を図るための対策となると思われるが。

農政課長 今後、砂防や治山関係部局との連携を図り、この新たな森林整備事業を有効に活用すること、災害に強い森林づくりに繋げたいと考えています。

他に「高齢者ドライバーに対する踏み間違い装置（後付け）導入支援について」の質問がありました。



令和元年梅雨時期における被害状況は



甲斐 純一郎

甲斐 梅雨時期には幾度となく警報が出され山腹崩壊が心配されたがその状況は。また、景観を阻害している城山展望所の周辺整備計画は。

村山総務課長 梅雨時期の山腹崩落はありませんでしたが、今後も防災減災に向けて対応して参ります。

古閑住環境課長 維持管理に関するものは所有者などに対応をお願いしており、景勝地景観形成などASO環境共生基金事業の目的に合うものであれば検討して参ります。

阿蘇市学校運営協議会について
甲斐 協議会の設置時期と進捗状況並びに委嘱された委員の方々の役割などは、また、活動内容は。

市原教育部長 平成27年度から31年度にかけて設置され、校区の区長、公民館長、PTA役員、民生委員、婦人会、老人会など地区を代表される方々15名の範囲内で構成されます。協議会は、子どもや学校の抱える問題の解決や、未来を担う子供たちの豊かな成長を促すため、学校運営に参画し、

特色ある学校づくりを目指しています。
甲斐 活動内容の結果や広報などはどうに行われているのか。

教育部長 「学校便り」や「コミュニケーションスクール便り」を発行し協議会の活動内容の周知を行っています。

甲斐 広報誌やインターネットなど様々な手法により周知を図ることで、委員のやりがい生まれ、市民の方々がより認識できるものと考え。市内にはリーダーシップを執ることができ多くの委員や指導者もおられ、より組織の活性化が図れるものと思うが。

佐藤市長 子どもたちが、大きく羽ばたき成長して頂くため、今後も学校運営協議会の推進にしっかりと取り組んで参ります。

他に「阿蘇市小学校の部活動廃止について」、「ほっとスクールASOについて」の質問がありました。



地域体験活動